

舞台美術 研究会



会計・飯沼祐美子さん
(文学部・3年)

●大隈講堂裏部室●

詳しいサークル紹介、連絡先は
12ページをご覧ください。

✉ @butabi_w

舞台美術研究会(通称ぶたび)は、79年の歴史を持つ、早稲田唯一の裏方専門サークルです。早稲田のサークルや学外の団体からの依頼を受けて、舞台美術や照明の仕事をしています。その活動の魅力を会計の飯沼祐美子(いぬまゆみこ)さんにうかがいました。

◆演劇と関わりたかった!

— 入会したきっかけは？

飯沼 早稲田といえば演劇だろうと思っていました。高校でも演劇をやっていた、大学で役者をずっと続けているのは大変かなと思っていたんですが、演劇には何らかの形でかかわっていたかったですよね。

— そうしたら演劇のスタッフを専門としていたぶたびに惹かれて……。役者を募集している他の劇団の新歓も並行して参加できたし、入会解禁は六月なのでとても入りやすかったです。演技まではちよつと、でも演劇には関わっていたいな、という人が集まっているところがぶたびのいいところかな。

◆色んな作品に携わり、人との繋がりが広がる

— ぶたびの魅力はどんなところですか？

飯沼 色んな作品に関われるし、演劇をつうじて人とのつながりが広がっていくことがとても楽しいです。ぶたびは一つの劇団に所属するよりもいろいろな団体とかかわることが出来ます。団体ごとに色があつて、作品によつても様々な色がある。たとえば、作品にダンスをとり入れているところもあれば、静かな対話劇もある。一年を通していろいろな作品にかかわることができるのが魅力ですね。

ぶたびは舞台美術と照明の仕事があつて、私は舞台美術をやっています!

パネルや椅子などの大道具を作成して舞台が上演できるように形を整えていくんですけど(「仕込む」と言いますが)、団体ごとに、作品ごとに「仕込み」の方法が違うので、毎回新しい発見があります。

それに何より、一つの公演の現場に仕込みに行くとき、その公演の劇団の方から「次の現場にもぜひ来てほしい」と声をかけてもらえるんです。一つの現場が、次の公演、次の次の公演、へと連鎖していく。そうして色んな人との繋がりが広がっていくことがすごくおもしろいです。

◆うまくいった時の達成感!

— ぶたびの作業で印象に残ったことは？

飯沼 演劇で使うものなので、舞台美術は実用性よりもデザイン性を考えてつくる必要があります。そこが興味深いところでもあるし、逆に難しいところでもあるんですよね。たとえば、対話劇で机をつくる時に、舞台に映えるように柱の部分を工夫してつくつたんですけど、いざ役者が使おうとすると座りにくくなつちやつて……。デザイン性を考えついても座りやすいように机をつくれれば良かったんだと、学ばされました。作業では脚本・演出の方のイメージを聞きながら、こちらもどうすればつくれるかを提案して理想の舞台美術をつくっていくので、苦勞もあ

るけど、とてもやりがいがあります。

以前、灯籠をつくってほしいと依頼されたことがありました。灯籠の中に灯体(ライト)を入れられないといけなかつたんですけど、照明の方に相談したら色々アドバイスをもらつて、つくれるという話に落ち着きました。いままでつくつたことがなかつたので不安もあつたんですが、実際に相手の要望にこたえようまくつくれると達成感がありましたね。

— 新入生に一言お願いします。

飯沼 ぶたびには演劇に興味がある人はもちろん、大学まで演劇を一度も見たことがなかつた人やプロの演劇しか見たことがない人、デザインや設計とかに興味があつて入ってきた人など色んな人が集まっています。少しでも舞台美術や照明に興味があれば、ぜひ気軽に作業現場や公演を見に来てください!



部室の机。いつもここで作業したり、集まつてお話をしています。

マンドリン楽部



幹事長・上野優那さん
(文化構想・3年)

●学生会館B117部室●

詳しいサークル紹介、連絡先は
8ページをご覧ください。



今年で創立111周年をむかえ、数多くの早稲田の音楽サークルの中でも屈指の伝統を誇るマンドリン楽部。イタリア発祥のマンドリンを中心としたオーケストラの演奏はプロのオーケストラからも高い評価を得ています。その魅力を幹事長の上野優那(うへのゆうな)さんに語ってもらいました。

◆マンドリンの音色に惹かれた!

—サークルに入ったきっかけは?—
上野 早稲田大学が第一志望で、受験のモチベーションをあげるためにもサークルを探していました。中学・高校の時に吹奏楽部で、管楽器以外の楽器にも触れてみたかったので音楽サークルを調べたら、真っ先にマンドリン楽部が目に入りました。入学後に楽器体験会に行くと、先輩の雰囲気とマンドリンの音色がとても良かったですね。先輩がフレンドリーで、イタリア発祥のマンドリンの民族的な音色も気に入って、すぐここに入ろうと決めました。

◆音楽を楽しむ!

—マンドリン楽部の魅力は?—
上野 マンドリンを中心とするオーケストラの音色がとても心地いいんです。海の中にあるような落ち着きがあって……観客もそうだし、弾いている私たちも同じで、いつもっとりしながら演奏しています。

◆曲を通して作曲家を感じる

—練習や演奏会を経て印象に残ったことや得たものは何ですか?—
上野 クラシックならではの面白さに気づきました。クラシックは吹奏楽と違って音楽の型が決まっています。作曲家やその人がいた時代によってスタイルが違います。同じフレーズ

—それにマンドリン楽部は「音楽を楽しむ」ことを何より大切にしています。演奏会は緊張することもありますが、ちゃんと練習をつみ重ねれば初心者でも楽しく弾けます! 普段の練習も面白いです! 最初は楽譜を読みながら自分のパートの音をつくるんですが、そしたら今度は周りのパートの音を聴いてみる。それで「このフレーズはあのパートと一緒になのか」と気づいたり、「ここは追いかけてやってみよう」と教えてもらったりして、自分のパートと他のパートの音がどんなやりとりをしているのかがわかっていくんです。他のパートとイメージを組み合わせながら音を合わせていくことがとても楽しいですね。

—マンドリンなどの弦楽器だけでなく、クラリネットやフルートの管楽器もすごく活躍できます。昨年五月の定期演奏会ではドビュッシーの交響詩『海』を披露して、弦楽器が海を、管楽器が風を表現して演奏しました。弦楽器以外のパートが目立っているのもマンドリン楽部の魅力です!

♪新歓情報♪

4/17(水)
新歓ミニコンサート
開場 17:15 ~、開演 17:30 ~
@早稲田奉仕団リパティホール
※楽器体験会もやります!

最新の新歓情報は「X」を、過去の演奏会の映像は以下 Youtube からご覧ください!



を繰り返して使う人もいれば、色んなフレーズを組み合わせる人もいます。作曲家にも個性があって、そういう発見があると嬉しいし、曲を通して作曲家と繋がっているような気持ちにもなります。歴史を感じますよね。それに「音楽を楽しむ」雰囲気は私もすごく気に入っています……吹奏楽をしていた時は、うまく演奏しなかつたという思いで焦ることが多かったんですが、ここではそういうことではないです。むしろ難しい曲も弾けると楽しくて、もっと弾けるようになりたい気持ちで内から湧いてくるんですよ。先輩も個性的な方が多くて(笑)。初心者は楽譜を読めるようになる苦労はあるけど、四年間じっくり時間をかけられるし、先輩も優しく教えてくれるので大丈夫!

—新入生に一言お願いします。—
上野 マンドリンを見たことない人も経験している人も、音楽を楽しむサークルです。マンドリンだけでなく、クラリネットやフルートの管楽器やコントラバスも大募集中なので、ぜひ一度部室をのぞいてみてください!

早稲田大学 繊維研究会

●学生会館E701部室●

詳しいサークル紹介、連絡先は
13ページをご覧ください。

📧 @sen_i_lab



早稲田大学繊維研究会は1949年創立の伝統あるファッションサークルです。独自のコンセプトにもとづくファッションショーの開催を中心とする活動は、専門家からも高く評価されています。独創的で自由な発想で創作活動をしている幹事長の井上さんにサークルの魅力を語ってもらいました。

◆自分たちの力で つくりあげるショー

「昨年十二月にファッションショーを開催されました。どんなショーだったのか教えてください。」

井上 「編み目に浮かびながら」というタイトルで五反田のTokyo Design Centerで開催しました。日本の「美」を見つめなおすことをテーマに、私たち部員にとっての歴史や記憶に刻まれている日本的「美」を日本の伝統的技法を使って表現するのでもちろん、会場のBGMにも環境音や日本の伝統的な楽器を使った音楽をプロの音響の方に頼んで一からつくってもらいました。会場で配布したルックブックには、墨汁の香りを練りこんだインクを使って文字を印刷し、侘び寂びや幽玄を表しました。

なぜこのテーマを設定したのですか？

井上 ファッション界では今、裏原や足袋といった日本発信の文化が再評価されているため、自分たちも日本を見つめ直したかったんです。

井上さんはどんな作品を制作したのですか？

井上 僕の出身地の福岡には、飛び鉈（とびがんな）の模様が特徴的な小石原焼という焼物がありまして、小さいころから身近で使ってきました。この模様をヒントに服をデザイン・制作しました。初めて服を作っ

たんですけど、肩の膨らみを均等にする方法がわからなくて、服飾専門学校生の部員に相談したら、「こうすればいいんだよ」って教えてもらって完成させました。作品をプロのモデルさんに着てもらえたことも嬉しかったですね。こんな体験はふつうないことなので、初めはひとりで作りはじめたんですけど、仲間に教えてもらったり、モデルさんに着てもらったりすることを通じて、自分ひとりだけのものではないんだな、と作品の見え方が変わりました。

◆ファッションを とおして広がるつながり

繊維研究会に入会したきっかけは？

井上 小さいころから洋服が好きでした。ファッション関係のメディアに数年前の繊維研究会の幹事長が出ていたのをきっかけに、このサークルを知りました。ファッションのサークルは他の大学にもありますが、繊維研究会は哲学があつて落ち着いて考えているのがいいなと思っていました。でも、入会する前は「ハードル高そうだな」と思ってもいたんです。新歓に行ってみたら、服好きの共通点から初めて会った人とも話が盛り上がったのが嬉しかったです。

どんなところが魅力ですか？

井上 部員には早稲田だけじゃなくて専門学校生や美大生もいます。自分では気がつかなかったことに目をつけていたり、全然違う見方をしていたりする人が集まっているので、

最新の新歓情報は、インスタグラムとXに随時あげるので、チェックしてください！



@SENI_1949

すごく視野が広がります。ファッションを批評するということも今まで考えたことがなかったのが新鮮でした。ブランドのショーを見ると、今までは服ばかり注目していたのですが、ライティングはどうなっているのかとか演出の仕方も目が向くようになり、見方が変わりましたね。

新入生にひとことお願いします。

井上 サークル内に様々な学校の学生がいるだけでなく、他大学のファッションサークルとのコミュニケーションもあるんです。本当に色々な人と出会って多角的な視野をつくれます。たくさんの人とファッションの話ができるのととても嬉しいですよ。「一年生だから〇〇はできない」ではなく、どの学年も平等に活動しているの、最初に活躍してもらえます。ショーをつうじてプロの写真家や音響の方、モデルさんとかかわる機会を持てるのもめったにないことなので、ぜひ体験してもらいたいです。ミシンや裁縫が未経験の方も大歓迎です！

戦争・貧困・環境 を考える会



●学生会館E530部室●

詳しいサークル紹介、連絡先は
16ページをご覧ください。



←LINE公式
アカウントはこちら！

写真は、早稲田祭 2023 に参加した展示企画「日本の新たなファシズムとウクライナ侵略に抗して」の様子。戦争・貧困・環境を考える会を代表して、高崎さん（文学部3年）、福田さん（文化構想学部4年）にサークルの魅力を語っていただきました。

✉ senhinkan@docomo.ne.jp
📍 w-senhinkan.jimdo.com

✉ @senhinkan23

◆「戦争の時代」に 向きあつて

—どんな研究をしてみましたか？
高崎 ロシアのウクライナ侵略から二年。プーチン政権は、ウクライナの民族、文化をまるごと抹殺するために、国土を蹂りんし続けています。また昨秋以降、イスラエル政府によるパレスチナ民衆大虐殺も強行されています。

教科書で見たヒトラーを想起させる凄惨な戦争が、私たちの眼前で日々繰り返されている。こうした現実を直視し、みんなで話し合いを重ねてきました。

福田 私は、「誰が誰を侵略しているのか」を見極めたうえで、侵略戦争にたちむかう民衆の立場に立つことが大事だと思います。プーチンの放った侵略軍にたいする憤りも、レジスタンスを戦うウクライナ民衆への共感もなく、「どっちもどっち」とコメントする評論家的な見方とは違って。

高崎 日本の大軍拡も問題です。岸田政権は、能登半島地震の被災者そつちのけで、トマホークというアメリカ製の先制攻撃用ミサイルを配備しようとしています。会員と図書館に行つて調べましたが、沖縄の新聞は「軍事要塞化」「再び戦場か」という危機感に満ちた見出しであふれている。東アジアにも戦争の危機が迫るなか、沖縄、そして日本全土が日米共同の対中国戦争の拠点として強化されているのです。

岸田政権が「戦争放棄」をうたつ

た憲法九条を変える宣言をしていることは本当に危険なことです。

◆「新たなファシズム」 に抗して

福田 岸田政権は、中国や北朝鮮の軍拡を「脅威」と言う他方で、米や日本の軍拡にかぎって「防衛的」と言う。何かおかしくないですか？

私はもちろん中国の軍拡に反対ですが、こうした岸田政権の軍拡正当化論に真正面から切りこむのが当会の魅力だと思います。

高崎 「国を守る」と言いながら沖縄では何をしているのか？ 政府の戦争政策に従わずに辺野古新基地建设に反対したら、「代執行」という強権を使って民衆の声をねじふせる・・・

福田 強権政治は、文科省をつうじて大学にも及び寄つてきています。昨年、愛知大学では、ウクライナ反戦デモに参加したことを理由に学生に退学処分が下され、学内外から抗議の声がまきおこつています。

高崎 ちまたで「新たな戦前」とも言われています。こうした問題を「新たなファシズム」という視点でとらえ、これに抗する理論をつくりだしていきたいですね。

◆研究成果を社会的に 発信

—早稲田祭企画は盛況でしたね。

高崎 ありがとうございます。沖縄の軍拡や入管難民法の問題、物価高や原発の問題、パレスチナやウクラ

イナ侵略など。各人で調べたテーマを手作りの模造紙展示として掲げました。イラスト入りやチャート式など色んな工夫をして、参加者からは「こういう企画を探していた」「さすが早稲田」など多くの共感の声を寄せていただきました。

福田 一生懸命つくった甲斐があつたね。社会的には戦争問題に切りこむ主張がほとんど見られず、あきらめムードも漂っているように見えるけど、やはり多くの人が批判的な視点を求めていると感じました。ささやかな一石だと思いますが、今後も発信していきたいですね。

—新入生に一言お願いします。

高崎 毎日のように映像で流される廃墟となった街、犠牲者を悼み侵略者への怒りに打ち震える人、「早く戦争を止めてくれ」と世界に訴える人・・・こうした惨禍が「なぜ許されているのか」「どうするべきなのか」と真剣に向きあうことが何より大切なことだと思います。みんなで話し合うなかで、自分には無かった新しい見方、価値観にふれ、自分を見返させられることもたびたびです。

福田 それがサークルの醍醐味だね。授業だけでは得られないものが必ずあります。一緒に自分の「社会観」をみがいていきましょう。ぜひ一度、説明会におこし下さい！